



中庭からの外観。庭園は造園家の作庭による

緑豊かな中庭に面し半円形アーチ窓をもつ住戸が並ぶ

サービス付き高齢者向け住宅 グランジュテなの花 | 設計・監理：Y設計室

既存のデイサービスセンターの増築として計画された、サービス付き高齢者向け住宅(新規デイサービスセンター併設)である。居住型の老人福祉施設は、一般的にバルコニーが連続する集合住宅風な外観であるものが多い。しかし、バルコニーは安全のため入居者の利用は制限され、実質的には空調室外機置場の必要性から設けられたものが多い。ここでは主要な外観となる北側住戸において、縦ルーバーの裏に小さなバルコニーを設け、空調室外機と通風窓を目立たないように隠蔽して設置した。これにより、居室部分の外観は半円形アーチの嵌め殺し窓のみが連続する曲面となり、これまでの同様の施設にはあまりない外観となった。施設の利用する高齢者は、今後団塊の世代もその対象となり、もはや木造や和風に郷愁を感じる、といった人々ばかりではない。また、施設利用者

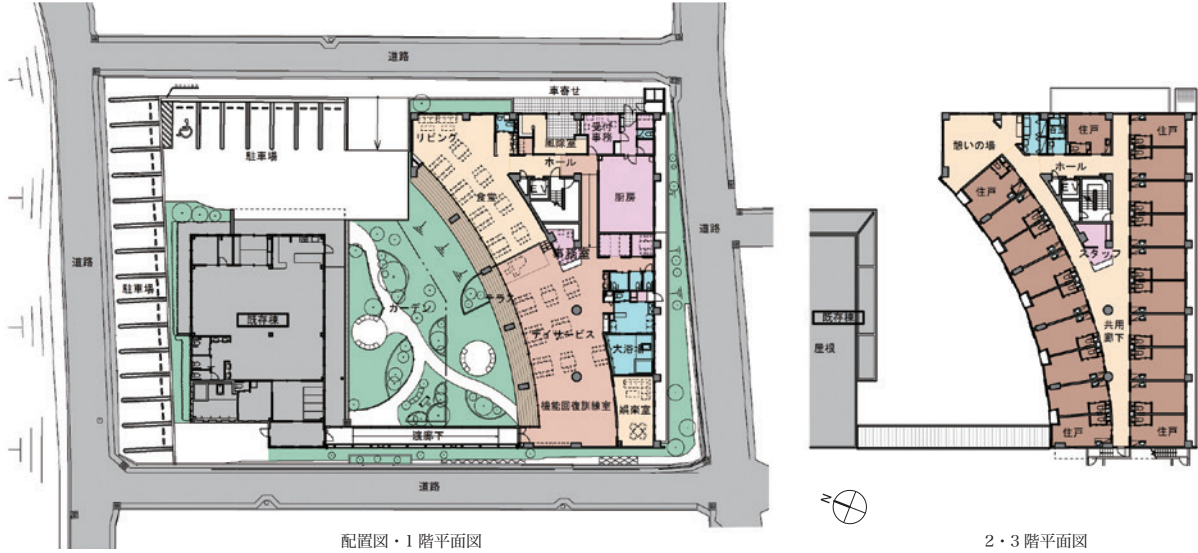
は一般的に女性が多く、半円形アーチ窓は「オシャレ」と受けとめられ、気に入っていただけたようである。開設以降、満室が続いている。平面プランは、北側を円弧形にふくませることで眺望のよい住戸を増やしながら、中庭を包み込むような心地よさと既存棟との一体感の創出を意図した。

(家原英生)

所在地	福岡市城南区西片江 2-13-5	構造・規模	RC造 地上3階
建築主	進藤メディカルサポート株式会社	敷地面積	2,165.60㎡
用途	サービス付き高齢者向け住宅 デイサービスセンター	延床面積	1,780.12㎡ (増築部分) 2,043.72㎡ (全体)
定員	サービス付き高齢者向け住宅：40名 デイサービスセンター：40名	竣工	2014年2月
戸数	40戸	撮影	西日本写真福岡
施工	美里建設		



中庭に面した食堂。奥は 600mm のレベル差で曲面が連続するデイサービス



外観夜景



設備の充実した機能回復訓練室



歩行訓練スペースを兼ねた渡り廊下のスロープ



上 | 眺望の開けた北側住戸 下 | Y字形の共用廊下